

# 明 示 書

講座の名称	介護福祉士養成実務者研修（訪問介護員研修２級修了者）		
実施方法	通信 スクーリング（回数９回）		
指定講座番号	41018-141004-6		
講座の創設年月日	平成 26 年 4 月 1 日		
教育訓練給付金対象講座の指定期間	平成 29 年 3 月 31 日まで		
過去一年の講座実績	入校者数（ 人）	修了者数（ 人）	
訓練期間	6 ヶ月	総訓練時間	320 時間
1. 教育訓練目標			
①取得目標とする資格の名称、レベル	介護福祉士養成実務者研修		
②①に係る資格・試験等の実施機関名称	厚生労働省		
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等	特になし		
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況	介護・医療・福祉業界及び高齢者・障害者（児）に関わるサービス業界等		
2. 教育訓練の内容			
使用教材名	実務者研修テキスト		
	教科（カリキュラム）	時間	
	人間の尊厳と自立	0 時間	
	社会の理解Ⅰ・Ⅱ	30 時間	
	介護の基本Ⅰ・Ⅱ	0 時間	
	コミュニケーション技術	20 時間	
	生活支援技術Ⅰ・Ⅱ	0 時間	
	介護過程Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	70 時間	
	発達と老化の理解Ⅰ・Ⅱ	30 時間	
	認知症の理解Ⅰ・Ⅱ	30 時間	
	障害の理解Ⅰ・Ⅱ	30 時間	
	こころとからだのしくみⅠ・Ⅱ	60 時間	
	医療的ケア	50 時間	
3. 受講者となるための要件（この講座を受講するために必要とされている条件など）			
①受講するに当たって必要な実務経験等	特になし		
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準	訪問介護員研修２級		

# 明 示 書

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況			
(1) 資格取得状況			
①昨年度の受講修了者数	人		
②①のうち目標資格の受験者数	人	受験率 (②/①)	%
③②のうち合格者数	人	合格率 (③/②)	%
④上記②・③の回答者数	人		
(2) 受講修了者による講座の評価等			
①回答者総数		人	
②受講開始時の就業状況等	1 正社員	人	②A：就業者計
	2 非正規社員、派遣社員	人	
	3 その他の就業（自営業等）	人	
	4 学生	人	
	5 求職中	人	
	6 その他（主婦、無職等）	人	
③就業中の受講者による講座の評価	1 処遇の向上（昇進、昇格、資格手当等）に役立つ	人	③の回答数合計 ※②Aと同数又はそれ以下
	2 配属転換等により希望の業務に従事できる	人	
	3 社内外の評価が高まる	人	
	4 円滑な転職に役立つ	人	
	5 趣味・教養に役立つ	人	
	6 その他の効果	人	
	7 特に効果はない	人	
④就業していない受講者による講座の評価	1 早期に就職できる	人	④の回答数合計 ※②Bと同数又はそれ以下
	2 希望の職種・業界で就職できる	人	
	3 より良い条件（賃金等）で就職できる	人	
	4 趣味・教養に役立つ	人	
	5 その他の効果	人	
	6 特に効果はない	人	
⑤受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に以内に就職した	人	⑤の回答数合計 ※②Bと同数又はそれ以下
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	人	
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	人	
	4 就職していない	人	
⑥講座の全体評価	1 大変満足	人	③の回答数合計 ※①と同数又はそれ以下
	2 おおむね満足	人	
	3 どちらとも言えない	人	
	4 やや不満	人	
	5 大いに不満	人	

# 明 示 書

5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法		
1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知能レベル到達度の把握・測定方法	通信添削課題、技術演習に係る習得度評価チェックリストによって行う	
スクーリングの実施場所、時期、期間・回数	場所：各教室、時期：毎月、期間：6月、回数：9回	
6. 修了を認定するための基準並びに修了を認定する時期及びその方法		
カリキュラムを全て履修し、基準に達したと認められる者に対して行う		
7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法		
(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	通信添削課題の添削指導を行い、必要に応じて面接指導を行う	
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例：資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	教室に求人票を掲示し就職先を案内、希望者には面談を実施する	
8. その他の事項		
指定教育訓練実施者名及び代表者名	有限会社ホットラインワールド（代表者名：友田好生）	
住所及び連絡先	佐賀県佐賀市与賀町1-15 TEL 0952-22-8995	
施設名称及び施設長名	ホットラインワールド	
住所及び連絡先	佐賀県佐賀市与賀町1-15 TEL 0952-22-8995	
給付制度担当部署・者	介護員養成事業部（担当者：上田耕稔）	
連絡先	TEL 0952-22-8995	
教育訓練経費 支払い方法 ①一括払 ②分割払 ③両方可能	1. 教育訓練給付金の対象となる経費 (①+②) <span style="float: right;">105,000円</span>	
	①入学金 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	0円
	②受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	105,000円 うち、必須教材費 12,800円
	2. 教育訓練給付金の対象外となる経費 (①+②+③+④) <span style="float: right;">0円</span>	
	①副読本代 (税込額)	0円
	②実習等に伴う交通費・宿泊費 (税込額)	0円
	③施設維持費 (税込額)	0円
	④その他 (法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額)	0円
	3. 総額 (1+2) (税込額) <span style="float: right;">105,000円</span>	

## 教育訓練給付制度の適正な利用に必要な事項について

教育訓練給付制度を適正に利用していただくために、以下の点について十分にご理解いただくようお願いいたします。

(1) 教育訓練給付の支給対象となる教育訓練経費とは、教育訓練の受講に必要な入学料及び受講料（最大1年分）に限られます。

(2) 受講料には、受講費のほか、受講に伴い必須となる教材費用等も含まれますが、検定試験受験料、補助教材費、補講費、交通費、パソコン等の器材費等は含まれません。また、クレジット会社に対する手数料、支給申請時点での未納の額（クレジット会社を介してクレジット契約が成立している場合を除きます。）も教育訓練経費に含まれるものではありません。

(3) 現金等（有価証券等を含みます。）や物品の還元的な給付その他の利益を受けた場合や、各種割引の適用を受けた場合には、その還元的な給付額や割引額等を差し引いた額が教育訓練給付金の対象となる教育訓練経費となります。

このため、このような還元的な給付等を受けた場合には、入学料及び受講料の額から当該還元額を控除した額で教育訓練給付金の支給を申請することが必要になります。

なお、当該教育訓練経費に係る領収書又はクレジット契約証明書の発行後、受講料の値引き等により教育訓練経費の一部の還付が行われた場合には、教育訓練給付金の支給申請に際しては、教育訓練実施者が受講者に発行する、還元額等が記載された「返還金明細書」の提出が必要となります。

(4) 教育訓練給付金は、当該教育訓練を実際に本人が受講し、かつ、修了した場合のみ支給されるものです。このため本人以外の者が受講し、又は修了試験等を受験等した場合には、教育訓練給付金は支給されません。

また、当該教育訓練の修了試験に際して、あらかじめ解答が添付されている場合等にあつては、当該教育訓練を修了したものとは認められていませんので、教育訓練給付金の支給を受けることはできません。